

2020年 年頭ご挨拶

変わらぬ正義感と誇りを持って、一人ひとりのゆたかな生活を開発するグループに。

新年あけましておめでとうございます。2020年を迎えるにあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

ご高承の通り、昨年も国内は地震や地球温暖化の影響も感じられる台風などに見舞われました。そのような中、天皇家のご即位と改元という新たな時代を迎えました。また、ラグビーワールドカップが日本で開催され、日本代表が初の決勝トーナメントに進出しました。時間をかけて「ONE TEAM（ワンチーム）」となり、全力で戦い、試合後は互いの健闘を称えあう姿はとても印象的であり、心をひとつに目標に向かうことの素晴らしさに私も感銘を受けました。

化粧品業界においては、インバウンド需要は天候や1月に施行された中国のEC法、貿易摩擦等の影響で一時的隆盛は落ち着いてきているようですが、国内外問わず、「機能性」や「利便性」が高いと感じられるもの、「技術革新」が感じられるもの、「サステナビリティ」が感じられるものは特に関心が集まる傾向にあったと考えております。

弊社グループにおいては、2019年4月から3か年の新・中期経営計画を開始しました。50年以上の歴史を誇るブランド「ちふれ」は、国内はコンビニ、海外はマレーシア、シンガポール、韓国、香港での販売を拡大し、越境ECの開設準備も進めております。エイジングケアブランドの「綾花」、オーガニックスキンケアブランドの「do organic（ドゥーオーガニック）」も販売チャネルを拡大。百貨店ブランドの「HIKARIMIRAI」も一部の百貨店ECでも販売を開始するなど、お客様にお買い求めやすい環境作りを進めました。さらに、ミレニアル世代向けのナチュラルスキンケアブランド「do natural（ドゥーナチュラル）」を発売するなど、お客様一人ひとりのご要望に沿えるよう取り組み、おかげさまでグループ全体の出荷数量も増加しております。

春には研究・開発拠点「ちふれビューティーサイエンスセンター」を開所し、リンゴポリフェノール、化粧品用PDLCフィルム、皮膚微小刺激の評価手法などについては、いくつかの学会で研究成果を発表することができ、より高い研究力の向上を図る弊社にとって前進していると感じられる年でした。

グループ再編から1年以上が経ち、徐々に各社らしさが形になってきておりますが、昨年も堅調な業績を収めることができたのは、ひとえにご愛顧頂いているお客様を始め、お取引先、関係者の皆様のおかげでございます。ここに改めて御礼申し上げます。

新年を迎えるにあたり、改めて身の引き締まる思いを抱いておりますが、新・中期経営計画の2年目を迎える今年が多産で繁栄の象徴とされることもある子年です。更なる成長を遂げるため、初年度に蒔いた種に水をやり、社会的により価値のあるグループとして花を咲かせられるよう、様々な取り組みをスピード感を持って実行していきたいと考えております。

具体的には、工場の更なる発展のための改修や建設、都内オフィスの整備など、拠点の強化に着手予定です。また昨年、埼玉県川越市内に開設した「ちふれあい保育園」や、同県内に拠点を置く女子サッカーチーム「ちふれA Sエルフェン埼玉」の多くの選手をスポーツ枠特別社員として雇用し、頑張る女性の支援も継続して行い、今後もより多くの方々に安心してお使いいただける化粧品の開発、生産、販売を推進するとともに、地域への貢献にも努めてまいります。

改めて、役員・社員一同、変わらぬ正義感と誇りを持って、支えてくださる皆様の声、想いに誠実に向き合い、お客様や社会に役立つことは何かを常に考え、必要とされる存在であり続けたいと思います。ちふれグループを本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

ちふれホールディングス株式会社
代表取締役社長 片岡 方和(かたおか まさかず)